

相場師朗の株トレード道場無料講座 第3話

相場：皆さん、こんにちは。相場師朗です。

加藤：こんにちは。アシスタントの加藤満里子です。

相場さん、いよいよ最終回の第3話となりました。「相場師朗の株トレード道場無料講座」と題してお送りしてきたのですが、1話と2話、簡単に振り返ってみますと、株価の動きというのはチャートに全てが表れている。私たちの周りにいろいろな情報がありますけれども、それは一切要らない。チャートだけを見ていけばいい。

相場：チャートは全てを表している。

加藤：ということですね。その株価は上昇、横ばい、そして下落を繰り返しているということでしたね。相場さんのトレードの手法が身に付けば、株価の動きだけで売りと買い、両方で利益を上げることができるということなのですね。

相場：そうです。

加藤：暴落とか、そういうピンチもチャンスに変えていくことができるというようなお話を伺ってきました。

相場：good. そのとおりです。

加藤：第3話は、相場さんからそのトレード手法をみっちり学ぶことができるプロジェクト「相場師朗の株トレード道場」をご紹介しますと思います。

相場：私は今回のプロジェクトでは結構自信がありまして、前、加藤さんに、私の技術も進化し続けているというお話をしました。それと同時に、皆さんに真剣に教え始めてから2年・3年ぐらいですかね。この間にいろいろ皆さんが分からないところがどこかというのが分かるようになりました。

加藤：ポイントが分かるようになったのですね。

相場：分かるようになりました。それから、どういう説明の仕方をすれば、私の脳みそに入

っているもの。

加藤：知識が。

相場：この腕に染みついているものをお伝えできるか分かったつもりでおります。

それから、マーケットが日々進化していますから、2016年は2016年なりのやり方があると思うのです。私の技法を基礎にして、2016年のやり方を年末年始にじっくり考えました。ですから、この講座は大変皆さんにとって実り多い講座になるのではないかと考えています。

ラジオ NIKKEI の「相場師朗の株塾」は本当にまだ入門編です。この講座はその入門編を基礎にして、さらに皆さんに高い、深い技術を身に付けていただくものになります。技術というのは一度手に付くと、身に付くと一生ものですから。

加藤：そうですね。財産になりますね。

相場：財産になると思いますね。そして、今年のマーケット、来年のマーケットでも勝ち続けていただけるような内容にできる自信がございます。

加藤：ご期待いただきたいと思います。

さあ、それでは「相場師朗の株トレード道場」についてご紹介していきましょう。今回のプロジェクトのキーワードは参加と対話です。そのため、今まで以上に、参加していただく皆さまの声やご質問を反映したプロジェクトにしていこうと考えています。

それでは、まず一つ目です。3カ月間で全6回のセミナーを東京、大阪で開催します。地方にお住まいの方、海外にお住まいの方、また当日、ご都合が悪くて会場に来られないという方もいらっしゃるかと思います。ご安心ください。セミナーの映像を録画してお届けいたします。ですから、何度でも復習することができますよ。

相場：そうですね。あれはすり切れるまで見ていただきたいですね。

加藤：そのぐらいやはり復習していかないといけないということですね。

相場：ところが、すり切れないんですよ、動画ですから。

加藤：ああ、そうか。では、その点もご安心いただけるということですね。

相場：そうですね。

加藤：もちろん収録した映像は会員サイトでもご覧いただけます。いつでもご覧いただけます。セミナーに参加された方でも、何度でも復習ができるということになります。

相場：そうですね。やはり1回ではなくて、2回、3回、4回、5回、6回と見ることで、1回目に気付かなかったことが3回目、4回目で気付くことができるようになりますから。何度でも見ていただけるのはいいですね。

加藤：そうですね。理解も深まりますよね。

相場：深まりますね。

加藤：さらに、セミナーには私もアシスタント兼進行役として、全6回、全てのセミナーに参加させていただきますので、よろしく願いいたします。

相場：いいですね。それはいいな。

加藤：ありがとうございます。また、セミナーでは、参加者の方々から頂いたご質問にお答えするコーナーもご用意いたします。どうぞ、こちらの方もご期待ください。

相場：これは、今までいろいろセミナーをやってきましたのですが、私が皆さんにお教えして、ちょっとやってもらって、それで時間いっぱいなのですよ。だから、質問がたくさんあるのだろうけれども、質問をお受けする時間がないのです。

ところが、今回の講座では、セミナーをやって、その後、まるまる1時間ぐらい時間を取って、皆さんからの質問を加藤さんがアナウンサーの滑舌と美声で読み上げてくださって、加藤さんも株を知っているから、だから、その質問も、皆さんのをよく感じ取って、私に質問をぶつけてくれる。皆さんから加藤さん、加藤さんから私にぶつけてもらって、その場でお答えするというコーナーが毎回1時間ありますから。

加藤：それは、質問コーナーも含めてセミナーの時間というのではなくて、プラスαで、よりセミナー全体の時間が長くなるということですね。充実しているということですね。

相場：そうですね。ですから、一方通行ではなくて、セミナーが立体的になってくるかなという感じがしますね。

加藤：そこも参加と対話ですね。

相場：参加と対話。

加藤：そして、二つ目です。セミナーの開催後に懇親会も開催いたします。もしかすると、相場さんとお話をする。ちょっとご相談したいなんていうチャンスもあるかもしれないですね。

相場：それはもういつも、懇親会では一生懸命、皆さんと交わって、いろいろお話をするようにしていますから、今回はさらに、もっともっと気合を入れて、懇親会に参加したいと思います。

加藤：懇親会には相場さんのお弟子さんも駆けつけていただく予定になっているということですね。

相場：そうですね。優秀な弟子たちが、要するに皆さんと私の中間にあるのですね。

加藤：ちょうど橋渡しをしてくれるような感じでしょうか。ちょっと先輩。

相場：そう、ちょっと先輩ということは、私がこうだと言ったら、皆さんは「あ、そうですか」となるけれども、でも、納得いかないことだってあるわけですよ。

加藤：そこまでまだ、勉強の途中という方がいらっしゃいますからね。

相場：そこをつい最近、経験した先輩たちが懇親会に出席してくれて、皆さんに「あ、そこはこうですよ」と。何かどうも先生に聞くと、頭が悪いと思われるから聞かないというのですよ。

加藤：そんなことを聞いていいのかなと思ってしまったりすることがあるかもしれないですね。

相場：そう。ところが、このいわゆるチューターといいますか、皆さんの先輩が参加してくださると、先輩になら聞きやすいわけですよ。先輩は、つい最近、自分で経験しているから、ちゃんと答えてくれます。それで「ああ、良かった」と安心して勉強できるという方がたくさん出てきているのですね。

先輩たちもすごいですよ。大阪とか東京。東京に住んでいる先輩たちが大阪に自費で来てくれたりするので。交通費も、宿泊費も出して。

加藤：そうなのですか。

相場：なぜかと言うと、自分が私から学んで、できるようになったから経済的にも豊かになっているし、今度は後輩に伝えたいという熱心な人たちがたくさんいるのですよ。なぜかと言うと、私は「勤勉であれ、硬派であれ」。この硬派な部分がかかり出ていて、自分もできるようになったから、後輩には自分で身銭を切ってでも教えに行きたい。そういうのが何人もいます。もううれしい。

加藤：頼もしい先輩がたくさんいるわけですね。

相場：実はそういう仲間が私の弟子にはたくさんいるのです。

加藤：ぜひそのあたりもご期待いただきたいと思います。

加藤：三つ目です。補講動画の配信。こちらはセミナーでお伝えできなかったことや、その時々相場環境の解説などを補講動画としてお届けいたします。

相場：補講動画ね。私は大体、自宅で作るのだけれども、補講動画を作っているときに宅急便が来て、ピンポンとか。そのまま補講動画を作ってお送りしたりしますが、中身は。

加藤：できたてのほやほや？

相場：できたてのほやほや。中身はちゃんとしっかりしたものをお送りしますから。ですから、セミナー以外に補講動画があるということですね。

加藤：またまたプラスαということですね。

相場：そういうことですね。

加藤：四つ目です。サポートも充実しています。セミナーで理解できなかったことやご不明な点、相場先生や事務局のスタッフからご回答いたします。動画でも回答して下さることがあるのですか。

相場：そうですね。ある質問が来たときに、その特定の方にお答えするよりも、皆さん、共通の疑問だろうということですね。

加藤：やはり同じような疑問や質問をお持ちの方は多いですね。

相場：そうですね。そういうことで、頂いた質問を動画で、皆さんで共有するような形も取っていきたいなと思っています。

加藤：そして五つ目、Facebookのコミュニティー、専用掲示板をご用意いたします。受講生の皆さんの、やはり横のつながりは大切ですよ。一緒に頑張っていこうという気持ちになりますよね。皆さんで不明な点とか、それぞれの成果を共有できますので、知識も深まっていきたいと思います。

相場：そうなのです。私の弟子たちは、私の勉強会、弟子たちのための勉強会を月2回やっているのですが、私が出る勉強会以外にもそこらじゅうで日々、勉強会が弟子同士で行われています。

加藤：グループがこういくつかあって、勉強を続けていらっしゃるのですか。

相場：ええ。ですから、皆さんはそこままだ実力はありませんけれども、この講座で勉強していただきながら、皆さんの中で、一つのコミュニティーでいろいろ勉強していただく。そういう癖を付けていただくといいかなという感じがしますね。勤勉であれ。

加藤：仲間がいると頑張れるということもありますよね。

相場：はい。そうなのです。会社では言えない、家でも言えない。このコミュニティーだと発散する人がいるのですよね。これはいいことだと思いますよ。

加藤：その他にも、イベントなども企画してまいりますので、ぜひご期待いただきたいと思います。

ここで相場さんに寄せられましたお弟子さんたちのメールを少しご紹介させていただきますと思います。

相場：そうですね。では、加藤さん、美声で読んでいただくと。何通か初めてお見せしますが、どうですか。

加藤：すごい。たくさん書かれていますね。

いつも熱心で心血を注いだご講義、ありがとうございます。毎回、師匠の笑顔や前向きな

言葉に、実は大変励まされ、希望や勇気を頂いております。私は株を学び始めたときに、一番最初の先生が師匠。これは相場さんのことですね。

相場：そうですね。

加藤：であり、私たち夫婦は大変ラッキーでした。しかし、出会った頃より、株塾ではさらに素晴らしいご講義で、株を教えることが師匠ご自身の天命。すごいですね。のように教えていらっしゃるように感じております。勉強会や動画では、いつも師匠の株に対する気迫を感じており、大変感謝いたしております。世界では貧困や戦争など、大変な環境の方々がたくさんいらっしゃる中で株取引をやれて、しかも師匠に出会えて、師匠の血と肉で得られた知識を教えていただける環境は大変ありがたいことと思います。もっともっと私にできることはたくさんあります。さらに真摯に学ばないと罰が当たりますね。

あるテレビ番組で、農業の経営者が農業は人を謙虚にさせるとおっしゃっておりました。自然相手の農業は天候に左右されるため、謙虚さが必要という意味です。私は株も人を謙虚にさせるとおっしゃっております。自分が上がるとおっしゃって建玉しても、下がるときは下がるし、またその逆もあります。その時々々の相場は大勢の方々の思惑で上がり、そして下がりするため、そのときの相場が正解であり、チャートが全ての答えで思うとおりにはいかないからです。

話は変わりますが、私はずっと花の仕事をしておりました。日本には華道、茶道、柔道など、何々道があります。上記のよう、上に記されたような、思いどおりにはならない中で、精神をぶれないようにしながら、淡々と練習どおりに建玉を行いながら研さんを積んでいく先に、その方の良さや個性が出るもののように感じるからです。私はその時々々の相場に惑わされてばかりで、自分の未熟さを思い知らされる日々ですが、師匠に言えない建玉はしないことを目指し、頑張っております。これからも少しでも師匠に近づけるように、そして相場の波にしっかりと乗れるように努力していきます。2015年の素晴らしいご講義に感謝いたします。来年も師匠のご講義についていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

相場：これは私がやっている、勉強会に参加して下さっている方なのですけれども。

加藤：ご丁寧な、ね。

相場：そうなのですね。この内容を見ると、やはり本当に株の技術になじんできたなという感じがします。メンタルの部分も詳しく書いていますし、一生懸命やっていないとここまで書けないのですね。

さて、もう1通、ちょっと見ていただきたいと思いますのですけれども、ちょっとお待ちください。今度はこれですね。今度はこれをちょっとご覧いただけますかね。はい、どうぞ。

加藤：先生、いつもお世話になっています。おかげさまで、今回の暴落は、当初は買い玉を持っていたので、多少やられましたが、最終的には全てを売りに転換して利益を出すことができました。勉強会や動画で先生から励ましの言葉を頂いたおかげで、買いを切って売りに転じることができました。今までは心情的に切り替えられずに、ずるずると損失を膨らませることが多かったのですが、今回、ポジションを入れ替えることができたのは良い経験になりました。ありがとうございます。昨日の昼の一時上昇で全て手じまってしまったので、今朝の寄りつきまで持っていれば良かったかとは思いましたが、次回に生かします。今回のように暴落すると、チャートの多くは多くの株が値下がりして、どれを買ってもいいような気がしてしましますが、どのような株から買っていくと良いか、銘柄を選ぶ基準は何かありますか。

相場：こういう質問を頂いたのですよね。この方は暴落を取れたのですよね。

加藤：ということですよね。

相場：これは去年の2015年の8月。ですから、この間の暴落をまさに空売りで取った人なのです。私は最後に「どれを買ってもいいような気がしますが、どのような株から買っていくといいか、銘柄を選ぶ基準はありますか」。こういうとき、私は厳しく「自分でこういう理由でこのように選んだのだけれども、先生はどう思いますか」というときに、私はアドバイスをするのですけれどもね。

加藤：よく自分で考えて、自分なりの答えを出してから先生にご質問をとよくおっしゃいますよね。

相場：そうですね。ですから、そういう答え方もしていますね。

それから、これも見ていただけますか。はい、どうぞ。

加藤：これは、お名前は。

相場：読まない方がいいですね。

加藤：このたびの暴落、おかげさまで売りで取れました。ありがとうございました。私にとっては、昨年の富豪2期、10月1日以来の大きな利益が出ました。先生の教えに従い、これからももっともっと精進していきます。なかなか東京まで行けませんが、動画は必ず拝見させていただいております。取りあえずお礼までにメールをさせていただきました。先生、ありがとうございました。

相場：これは少し前に頂いたメールですけれども、皆さんにお伝えしたかったのは「この暴落をおかげさまで売りで取れました」ということで、下げも取れるんだということをお見せしたかったので、ちょっと古いメールですが、ご紹介をしました。

加藤：他の多くの方がピンチになったところを、この方はチャンスに変えることができたということなのですね。

相場：そうですね。それから、これも見ていただくと面白いかなと思います。まさにこれは生で見ていただきたいものですからね。どうぞ。

加藤：このたび、11月25日に先生の株式投資『7ステップ』を購入させていただきましたという方ですね。これまで10年ほど、個人で買いのみの株式売買を手掛けてきました。その間、さまざまな情報誌や指南書を手本にして売買を行いましたが、運用資金は減る一方、トータルで1,500万円程度失ってしまったということなのですね。この10年間の90%は株取引講座の損益額は常にマイナス表示で、プラス表示を楽しめたのはほんのわずかでした。

しかし、先生の投資法を学び、ビデオを繰り返し視聴し、自分なりに10銘柄を選別してトレードジムを毎日実践。分割売買、うねりのリズムを捉えながらの売り買いを危ういながらも実践しております。おかげさまで、この2週間はわずかなマイナス時期はあったものの、毎日積み増される利益のプラス表示に心を躍らせて楽しむことができるようになりました。株式投資でこんなにもストレスのない時間を過ごせているのは全く初めての体験です。ありがとうございます。これもひとえに先生のおかげと感謝しております。一言、御礼を申し上げたく、メールを送らせていただきました。今後ますます皆さまが活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。ありがとうございます。

相場：皆さん、私がお伝えしているこのうねり取り、そして建玉の操作をする投資法で、過去、まぐれとか、あるいは当て物的にやっていたものを技術で取る方向に変えてから暴落も取れる。そして、上昇も取れるし、それから皆さん、共通して書かれているのが、危なげないというか、ドキドキしないというか。危ういながらと書いてあるのですが、どうも何とかうまく技術で切り抜けて行って、結果的に技術で結果を出している。そういう方々が多いですね。

まだまだたくさんメールを頂いているのですが、こういうお礼のメールを頂いたときが一番うれしいし、モチベーションも上がります。

加藤：そうですね。

相場：そして、この皆さんに教えた経験を生かして、今度はこの株道場で、さらにもっといい内容に持っていけるかなと思っています。

加藤：さあ、それでは相場さんに最後になるというか、もう終わりに近づいていますので、これから始めようという方はやはりちょっと不安な部分もあるかと思うので、幾つかご質問をさせていただきたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

相場：どうぞ。

加藤：プロジェクトに関しまして、まずは株初心者でもついていけますか。

相場：株初心者は全く大丈夫ですね。私の弟子の中で、私が初めての先生であって、なおかつ株取引をするのは初めてだという方はたくさんいらっしゃいます。むしろ癖がないから、いろいろな変な本を読んで、変な先入観もないから、チャートだけだと言ったら、チャートだけでやれる人ですから、初心者は全く大丈夫です。

加藤：もしかしたら、かえって勉強をしやすいかもしれないですね。

相場：かもしれません。そう思います。

加藤：高齢のため、ご高齢の方で、講義についていけるか心配ですが、大丈夫でしょうか。

相場：大丈夫ですね。もう 76 歳の方とか、80 何歳の方ともいらっしゃいますから。あとは本人のやる気だけですよ。

加藤：ご安心ください。

相場：高齢の方はむしろ人生経験を重ねているから、私が言ったことをそのまま受け止められるのではないかと思いますよ。それから右往左往しないようにという、人生経験があるからしません。意外といいのではないかなと思いますね。

加藤：相場先生の手法はどのような銘柄に向いているのですか。

相場：株価がうねるということは、出来高が少ない銘柄だとうねらないです。でも、出来高が多い銘柄だと売り買いが交錯して、きれいにうねっていきます。ですから、基本的には日経 225 に採用されているような銘柄の中で出来高が多い銘柄。いわゆる皆さんが誰でも知

っているような会社だったら、どこでも大丈夫です。そういう一流会社の株価の動きに向いているのではないかなと思います。

加藤：相場先生にとって、お弟子さんの皆さんはどのような存在でしょうか。難しいですか。

相場：一言では難しいですが、どうでしょうね。私の研究のモチベーションをさらに上げてくださる皆さんかなと思いますね。弟子のみんながいるから、もっと自分も勉強しなければいけないし、みんなに分かってもらえるようにどういう工夫をしたらいいか。何か自分のモチベーションを常に、元気さを保たせてくれる仲間という感じがいたしますね。

加藤：刺激をしてくれる存在でもあるわけですね。

相場：そうかもしれませんね。

それから「うまくいきました」というお礼のメールが来るとうれしいじゃないですか。

加藤：そうですね。

相場：だから、どこかメールにありましたが、もう今は教えることが私の天命ですから、何かそういう対象かなという感じがしますね。

加藤：パソコンが苦手な方でも大丈夫でしょうか。

相場：実は私も苦手ですから。多分、加藤さんも苦手。

加藤：はい、あまり得意ではないです。

相場：全く問題ありません。ここのこの動画を見ることができているぐらいの。

加藤：パソコン操作ができれば。

相場：大丈夫です。

加藤：大丈夫ですか。どのくらいの投資資金が必要となるのでしょうか。

相場：まず、空売りもできないといけませんから、今、日本のインターネットで取引できる証券会社であれば、30万ですかね。30万円あれば、スタートができるかなと思っておりま

す。

加藤：あとは、多いと思うのですが、昼間、お仕事をされている方は大丈夫でしょうか。

相場：全く大丈夫です。私の弟子たちの中では、ほとんど昼間、仕事をやっている方ですね。昼間はお仕事の集中していただいて、そして夜、帰ってきてから練習をしていただく。あるいは実際のトレードでしたら昼間は見ませんから。私も見ません。ザラバは見ないというのが約束ですから、夜、勉強して、そしてチャートを見て、あしたの注文はあしたの9時前に入れてしまう。会社に行く前に入れてしまう。仕事に入る前に入れてしまう。全く問題ないです。その方がむしろいいです。

加藤：そして、相場先生の他の講座との違いを教えてください。

相場：まず一つには、私の技術は常に練習をしていますから、常にブラッシュアップしています。だから、私がブラッシュアップしているということ、常に進化しているということは、去年お教えしたことよりも、今年、お教えすることの方が中身が濃いはずで。これはもう皆さん、弟子たちは感じていますね。

それから、次に技術ではなくて、教え方自体も進化しております。ですから、今までの講座の中で最新の内容、そして教え方になると思います。

それと、これは2016年バージョンですから、今年の相場の動きに合った内容になっております。従って、今までの講座は過去の、例えば2014年の講座では14年のマーケットに合った内容になっています。私の中には30年の経験が入っていますが、14年のときは、私の経験の中で、知らない間に14年に合った内容をお話ししていたと思うのです。ところが、今度は16年になりますから、私の脳みその過去の経験の中で、この2016年に合っている内容を自然にお出しすることになると思いますから、過去の講座とはだいぶ違ってくるかなという感じがします。

加藤：相場さんご自身もやはりトレードをされているから、やはりそういう雰囲気というか、その時々の方場の状況というのも肌で感じられて、それもいろいろアドバイスをしてくださるということですね。

相場：そうですね。具体的に銘柄とか、今の状況はこうですよというアドバイスではないのですが、私が持っているたくさんの技術の中で全部というよりは、2016年にぴったり合った、あるいは2017年に合った内容を自然に、私は肌で感じているから、たくさん持っている中の、今、一番使えるものをお伝えするという感じがしますね。それと今回のテーマは対話でしたか。

加藤：そうです。

相場：これは皆さんとできるだけ交流ができるような。あるいは皆さん同士が。私は皆さんと交流する。チューターたちも、先輩たちですね、皆さんと交流する。

加藤：参加していただいて、交流する。

相場：加藤さんも毎回、東京、大阪に出席しますから、皆さんとの交流も中心に入ってきますから、今までの講座の中では一番、いろいろな面で進化した講座になるのではないかと思います。

加藤：皆さんも安心して、そして期待を持ってご参加いただければと思います。相場さん、ありがとうございました。

相場：ありがとうございました。

加藤：最後までご覧いただきまして、本当にありがとうございました。それでは相場さん、この動画をご覧の皆さまに、最後にメッセージを頂けますか。

相場：分かりました。まず皆さんに一番強調してお伝えしたいのが、今回の講座は2016年版の最新の技術を皆さんにお伝えするものであるということです。

実は私の三十数年に及ぶ株の技術というのは頭に入っているのですが、私もよく元巨人軍の監督の長嶋型といわれていて、ああなったらこうなるから、ああなるだろう。誰も分からない。

加藤：直感型。

相場：直感型。だから、なかなか昔は伝わりませんでした。

ところが、だんだん自分の脳みそが、どなたかに自分の技術を伝えるという回路に変わりつつあって、2015年は15年なりに、16年は16年なりに入っているものの、一番今に伝えるものを取り出して伝えられるような感じになってきたのですよ。これは年末年始に一生懸命いろいろ考えて、去年、2015年の反省をして、どうしたらもっと伝えられるか。それから16年はこうなっていくということも含めて、ちょっといいものになっていくのではないかなと思うようになってきました。だから、2016年版の最新の技術であるということ。それから、株の技術以外に、私が皆さんにお伝えする技術も最新になっているということで

すね。

それから、今回のこのプロジェクトといいますか、講座は参加と対話。参加すること、そして対話することに重きを置いています。意識をした、そういうセミナーになっていますから、ここも皆さんの技術力を身に付ける、高めるための一つのものになるのかなと思っています。

それと、やはり私も一つ年を取りまして、魂を磨くプロジェクトにしようかな。自分も、皆さんも。どうしてかという、その道の一流の人というのは、その一筋を狭く深く極めた人じゃないですか。それは、実は仏像の人間国宝であったり、うどんづくりのプロであったり、釣りの専門家であったり。でも、一つの道を狭く深く、浮気をしないで深めていった人だと思うのですよ。これはまさに自分を鍛えることかなと。私も、加藤さんも、皆さんも、実は釣りで出会ったのではなくて、うどんでは出会ったのではなくて、株をトレードする技術を磨くこのプロジェクトで出会ったわけですから、株をトレードする技術を磨く中で、一緒に魂も磨いていく。そんなプロジェクトにできたら大変うれしいなと。

そして、一生ものの技術を身に付ける。身に付いた技術は、ずっとこの腕に残っている。そういうものに仕上げていきたい。これが今回、最後に皆さんにお伝えしたいことです。

加藤：今、やはり一生ものの技術というお話があったのですけれども、やはり自分の身に付いたものは自分自身の財産にもなると思うのですよね。

相場：そうですね。

加藤：やはり動画をご覧の方の中には、ちょっと参加費とかが気になる方もいらっしゃると思うのですけれども、後々、技術が身に付いた後には「ああ、あのときに自分に投資をして良かったな」と、そんなふうに思っただけのプロジェクトではないかなというふうに感じました。

相場：そういうふうにしたいですね。

加藤：ぜひ皆さま、ご参加いただきたいと思います。皆さんと2月にセミナー会場でお会いして、いろいろな、参加と対話ということで。楽しみにしたいですね。

相場：楽しみにしたいですね。そして、皆さんと一緒にいい仲間をつくって、魂を磨きながら、技術を磨いて、バブル崩壊まで上げ下げを取って、そして、今度は崩壊の下げを取っていける。そうすると、かなりいいことになるかなという感じがしますね。

加藤：相場さん、ありがとうございました。

相場：ありがとうございました。